



**Triathlon
Japan**

2023-2028 JTU中長期計画

2023.6.29

A group of triathletes are captured in mid-stroke, swimming in the ocean. The scene is backlit by a bright sun low on the horizon, creating a strong silhouette effect on the athletes and a lens flare. The water is dark blue, and the sky is a deep blue. In the background, a city skyline is visible across the water. The word "Introduction" is written in large, white, sans-serif font across the bottom of the image.

Introduction

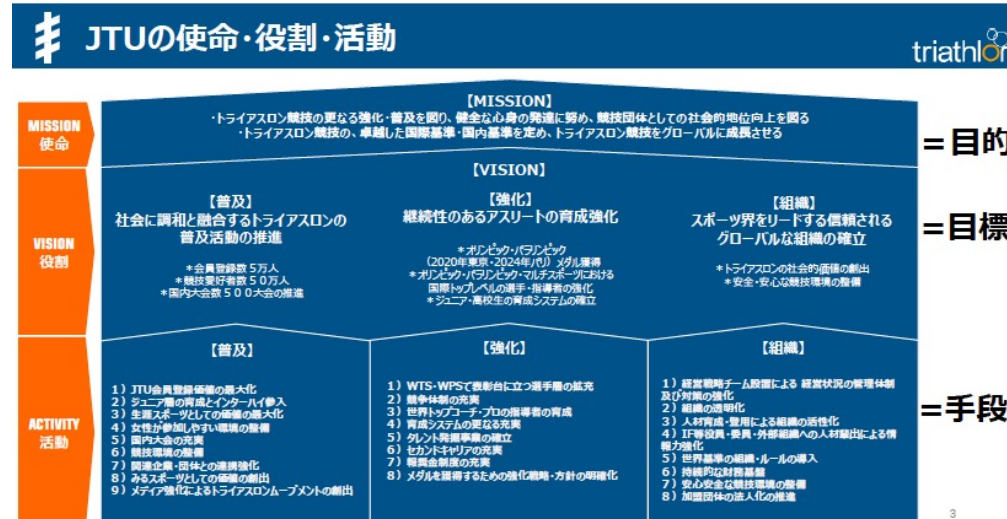
計画策定に関する背景

2017～2018

・2017年10月に理事へのアンケート調査及び加盟団体に対して意見収集を行う。2018年3月に会長と各ブロックから選出された全理事が参加するワークショップを行うことで、中長期戦略・計画に対する議論と巻き込みを図り、理事会にて合意後に社員総会にて発表。（2018年6月）

2019～

・「トライアスロン＝健康スポーツ」計画をテーマに掲げ、2018年発表の中長期戦略に加え、短中長期の具体的なロードマップの提示を行った。

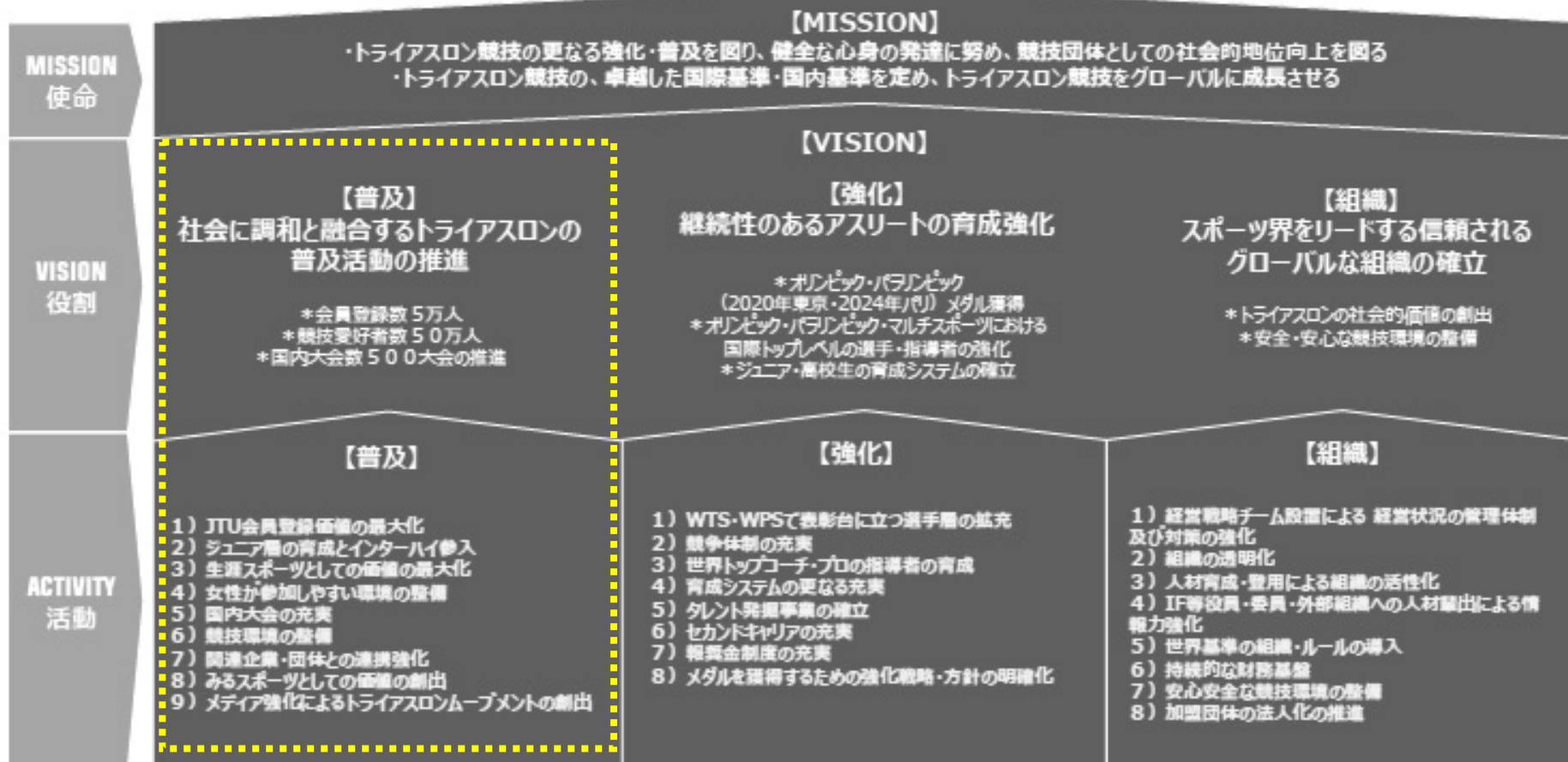


2020～

Covid-19の影響から事業環境の変化を鑑みて、必要な対応を中長期計画に追加・アップデートすることとしました。



JTUの使命・役割・活動



主なアップデート領域

トライアスロンを取り巻く環境の変化

東京オリ・パラ大会やCOVID-19流行の影響から、トライアスロンに関心を持つ人の増加、愛好者・会員による各地域コミュニティ活動の活性化が見受けられ、これらを踏まえた計画に更新する必要性が生じました。

今まで

東京オリ・パラ 大会の影響

トライアスロンは
多くの人に知られているが、
関心を持つ人は少ない

COVID-19 流行の影響

競技団体による
愛好者・会員向けの
大会参加を主とした活動

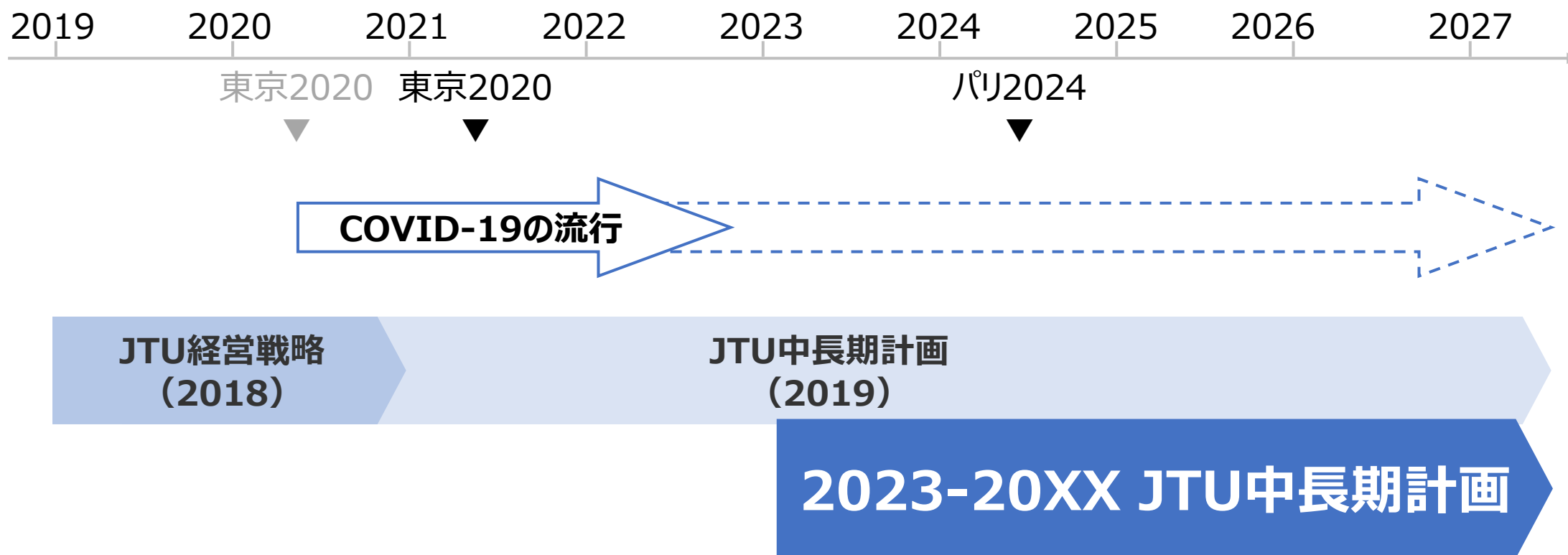
現状・今後

東京オリ・パラ大会
の放映・活躍を通じて、
トライアスロンに
関心を持つ人が増加

大会開催が不安定となり、
愛好者・会員による
各地域コミュニティ活動
が活性化

JTU中長期計画の位置付け

JTU短中長期計画（従来計画）の達成に向けて取り組んできましたが、東京オリンピック・パラリンピック競技大会やCOVID-19の流行などの**事業環境の変化を鑑みて、必要な対応を中長期計画に追加・アップデート**することとしました。



Mission & Vision

スポーツ団体に対する社会的な期待

JTUを含む**スポーツ団体に対する社会的な期待**として、「1億総スポーツ社会の実現」「持続可能な開発目標の達成」に対する貢献、「組織ガバナンスの強化」が求められています。

1億総スポーツ社会 の実現

スポーツ庁の第2期スポーツ基本計画より、スポーツ参画人口の拡大による「1億総スポーツ社会」の実現が掲げられ、**スポーツを通じた健康増進による健康寿命の延伸や社会全体での医療費抑制への貢献**が期待されている

持続可能な開発目標 (SDGs) の達成

国連サミットで17の持続可能な開発目標（SDGs）が掲げられ、ジェンダー、不平等、気候変動などが国際目標として定められているなかで、各国や一般企業のみならず、**スポーツ団体としても目標達成に向けた取組み**が期待されている

組織ガバナンス の強化

スポーツの価値を毀損しかねない不祥事の発生を防ぎ、またスポーツの価値を一層高めていくため、スポーツの普及・振興の重要な担い手である**スポーツ団体の適正なガバナンスを確保**することは必要不可欠

競技・組織の特性から見るJTUの責務

トライアスロンの競技特性、JTUの組織特性からも、自然環境への配慮・取り組みや、誰もがトライアスロンを楽しむことができる環境を構築することは、**JTUが果たすべき責務**です。

競技（トライアスロン）の特性

自然環境で行われるスポーツ



温暖化や海洋汚染などは競技環境の棄損に繋がることから、JTUとしても**自然環境への配慮・取り組みは果たすべき責務**である

組織（JTU）の特性

パラも含めた組織体制



年代・ジェンダー・障がい問わず、**誰もがトライアスロンを楽しむことができる環境を構築することは果たすべき責務**である

トライアスロンの普遍的な価値

改めて、愛好者や会員に対して**トライアスロンの普遍的な価値**を調査したところ、「フィニッシュ時の圧倒的な達成感」「複数種目を通じた健康効果」「長く続けられる生涯スポーツ」が挙げられました。



複数種目を通じた健康効果



フィニッシュ時の圧倒的な達成感



長く続けられる生涯スポーツ

JTUが目指す世界

社会的な期待、責務、トライアスロンの普遍的な価値を踏まえ、
JTUは「だれもが生涯スポーツとして健康的にトライアスロンを楽しむ」世界の実現を目指します。

JTUが目指す世界

だれもが生涯スポーツとして健康的にトライアスロンを楽しむ

だれもが

ジェンダーなど不平等の解消
共生社会の実現/地方創生/国際交流

生涯スポーツ

スポーツを通じた健康増進

健康的に

自然環境保全 心身の安全安心確保

JTUの役割

普及

それぞれのライフステージに
寄り添った競技環境の実現

強化

持続的なメダルポテンシャル
アスリートの育成強化

組織

スポーツ界をリードする信頼される
グローバルな組織の確立

JTUの目標

普及

登録会員

5万人

強化

オリンピック・パラリンピック
メダル獲得

JTUの約束

登録会員

トライアスロンを楽しめる・強くなる環境を提供します

加盟団体

様々な普及事業の推進をサポートします

パートナー企業

企業価値向上に向けた取組みをサポートします

自治体・関係団体

社会課題の解決に向けた取組みをサポートします



Mission

トライアスロン競技の更なる強化・普及を図り、健全な心身の発達に努め、競技団体としての社会的地位向上を図る。
トライアスロン競技の、卓越した国際基準・国内基準を定め、トライアスロン競技をグローバルに成長させる。

Vision

JTUが目指す世界

だれもが生涯スポーツとして健康的にトライアスロンを楽しむ

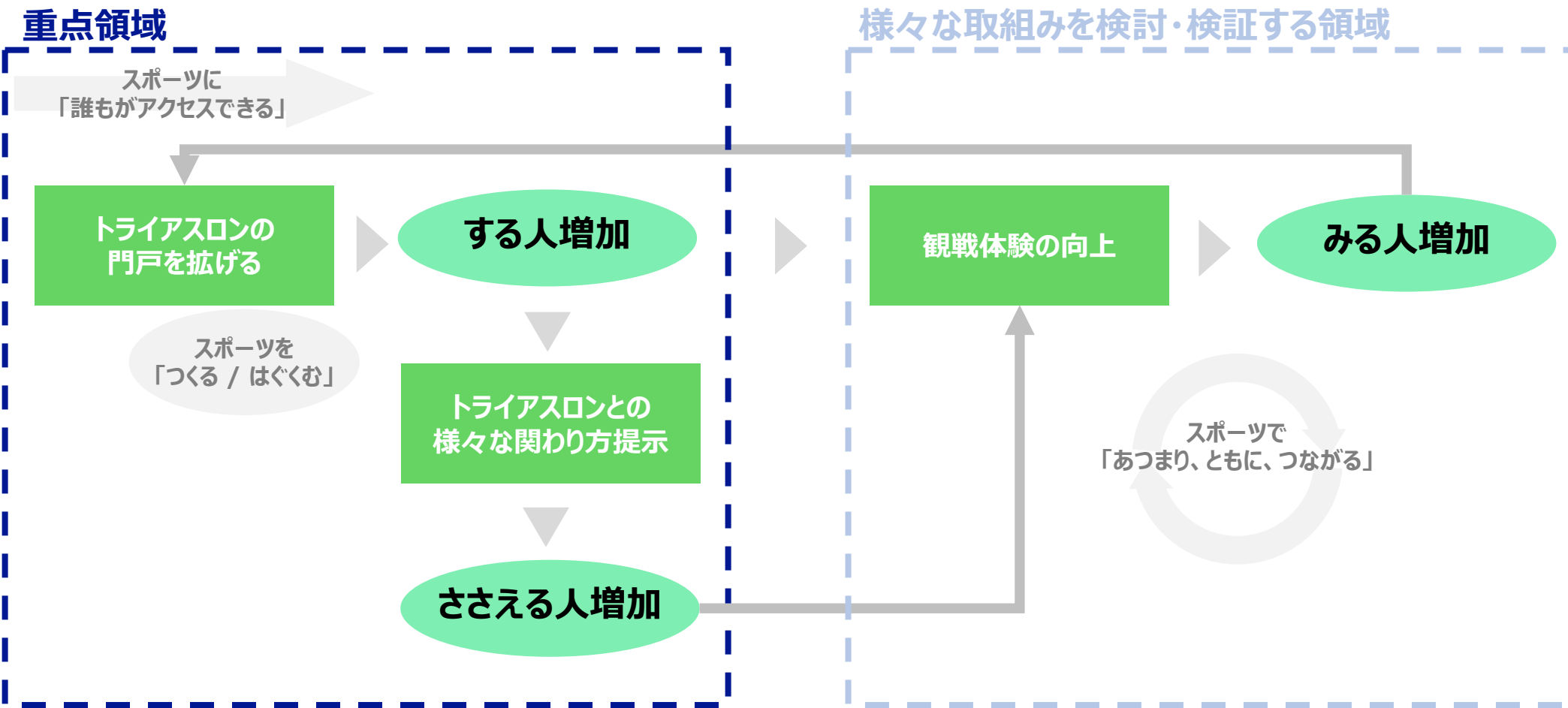
Promotion Activities



JTUの普及ストーリー

トライアスロンの門戸を拡げて「する人」「ささえる人」を増加させた上で、「みる人」を増やし、そこから更に「する人」「ささえる人」への移行を促します。

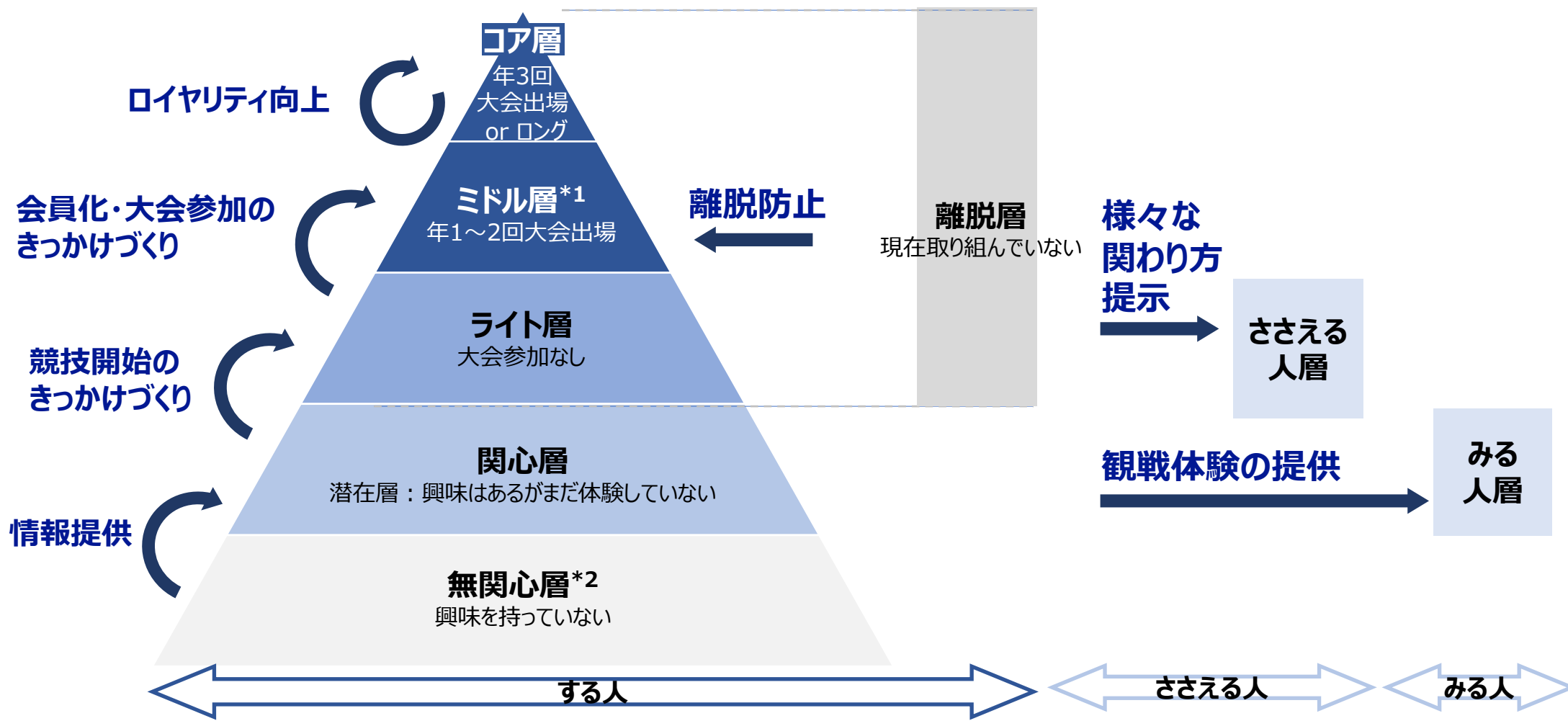
普及ストーリーと本計画における取組み



普及のターゲット分類と普及施策の方向性

する人・ささえる人の増加に向けて、**情報提供、きっかけづくり、ロイヤリティ向上、離脱防止**や様々な関わり方提示の施策を実施していきます。

トライアスロンの取り組み度合いによるターゲット分類と普及施策の方向性



普及の方針・取組テーマ

中長期 普及方針

- 健康を基軸とした、生涯スポーツとしての普及事業とイメージの推進
- 地域活性化を目指した、地方主導による普及活動の推進
- デジタルプラットフォームを基軸とした、カスタマーマーケティングの推進

中長期 実行施策

セグメント	取組テーマ	実行施策	
全体	メンバーシップ	・ メンバーシップ制度強化	重点
コア層 ミドル層	ロイヤリティ向上 (更なる競技参加)	・ ナショナルチャンピオンシップシリーズを基軸としたランキング制度 ・ タイム・競争力を促進する認定記録会等の開催	重点
	会員化	・ ロングディスタンス大会の開催による国内大会参加の促進	重点
ライト層 関心層	きっかけづくり	・ アクアスロン・デュアスロンの参加推進・2種目推奨 ・ 健康目的やレジャー感覚で参加できる大会やイベントの企画	重点 重点
	離脱防止	・ パスウェイモデルを基軸とした子どもが継続できる仕組みづくり ・ コミュニティづくりのサポート	重点
	情報提供	・ マイポータルを活用した、個々人に最適化された情報の提供 ・ パラ競技の普及に向けた情報配信と体験機会の提供	重点
ささえる人層	様々な関わり方提示	・ 学生や若手競技者など、審判員活動の魅力を提示	
みる人層	観戦体験の提供	・ DXを活用した観戦体験の提供	

重点施策

全体施策

メンバーシップ制度強化

目標

登録会員 5 万人

トライアスロンメンバーシップ制度・サービスを強化・拡大する

施策

- ・デジタルプラットフォーム（マイポータル）システムの推進
→選手・審判・指導者など個々に応じた情報集約と配信
- ・会員登録システムの刷新（2023年10月-リリース予定）
→加盟団体の管理・利便性の向上、セキュリティ強化を目的にシステム改修
- ・登録制度改革
→名称、登録費、登録区分などの見直し
→保険機能などの付加価値の検討



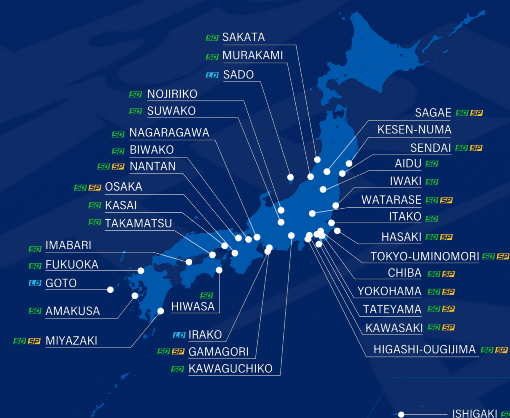
重点施策

コア層・ミドル層

エイジグループナショナルチャンピオンシップ シリーズを基軸としたランキング制度の推進

目標

年間の大会成績をポイント換算し、獲得ポイントに応じたランキング制度を導入することで、コア層・ミドル層のロイヤリティを向上を目指します。



重点施策

コア層・ミドル層

ロングディスタンス大会の開催による 海外主戦場層の国内大会参加の促進

目標

国内では少ないロングディスタンス大会を開催し、海外レースが主となっている参加者の大会参加を促す。

施策

ロングディスタンス（アイアンマン含む）の国内開催を推進



- ・アイアンマン含むLDの海外のレースを主戦場とするエイジグループ選手は非登録会員が多い。
- ・LD大会の国内開催を推進し、会員化を図る。
- ・その他国内大会への誘導による更なるロイヤリティ向上を目指す。



重点施策

コア層・ミドル層

エイジグループ世界選手権への派遣

目標

コア層・ミドル層であるエイジグループランキングの上位選手の特典として、ワールドトライアスロン世界選手権への派遣を推進し、ロイヤリティ向上をめざす。

施策

エイジグループランキングの上位選手のワールドトライアスロン世界選手権への派遣推進

ワールドトライアスロン・エイジグループ世界選手権（スタンダード、スプリント）
ワールドトライアスロン・エイジグループマルチスポーツ世界選手権（ロングディスタンス、デュアスロン、
アクアスロン、クロストライアスロン）



デュアスロン・アクアスロンの参加推進

目標

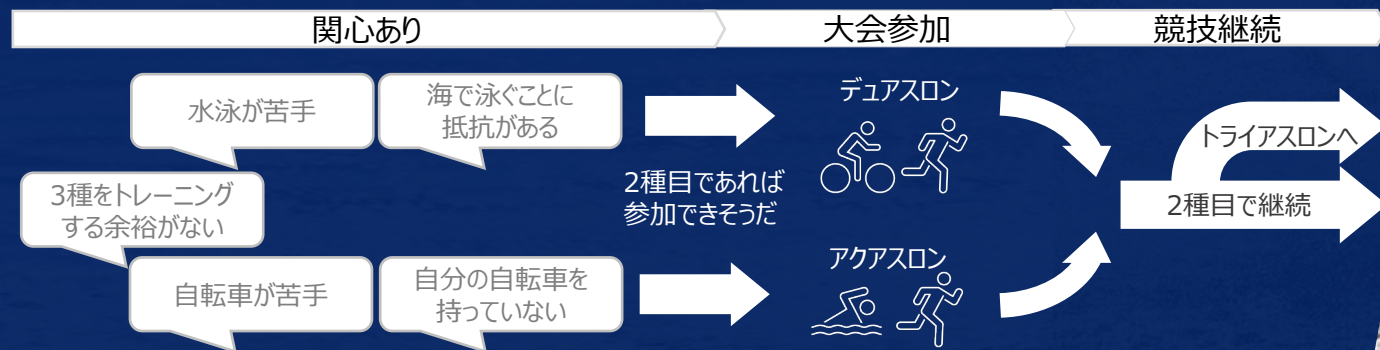
デュアスロン・アクアスロンの大会やイベントを開催することで間口を広げ、関心層への競技普及を推進します。

目的

3種目であることにハードルを感じている関心層に気軽に競技を始めるきっかけを提供する

施策

2種目のみのデュアスロン・アクアスロンの大会やイベントを積極的に開催



重点施策

ライト層・関心層

パスウェイモデルを基軸とした 子どもが継続できる仕組みづくり

目標

アスリート育成パスウェイを活用し、スクールや体験会を通じて子どもに長く楽しく競技を継続させます。

目的

トライアスロンを始めた子どもに、長く楽しく競技を継続させること

施策

トライアスロンジャパン アスリート育成パスウェイの活用によるスポーツの振興・アスリートの育成

- ・トライアスロン体験会・教室・クリニックの開催
- ・キッズ/ユースキャンプの開催
- ・キッズ/ユース/ジュニア向け大会開催の推進



重点施策

ライト層・関心層

トライアスロンの社会貢献活動による 地域支援事業

目的

社会課題の解決・地域活性化を目的に社会課題解決につながる取り組みを都道府県競技団体と推進。都道府県競技団体とJTUが一体となって、トライアスロンならではの価値を地域に還元することで社会課題の解決をめざす。

施策



健康事業（健康ゆるゆるトライアスロン）

複数種目を通じた健康効果



高齢化による医療費増大



地域住民の健康寿命延伸



こども向け事業（学校訪問、オリパラ教育事業）

オリ・パラ一貫した組織体制



共生社会への理解促進



小中学生へのオリパラ教室



環境保全事業（ビーチクリーン、環境啓発イベントなど）

自然環境で行われるスポーツ



気候変動対策/環境保全



ビーチクリーン・環境啓発





High Performance

強化の戦略方針 全体イメージ

持続的なメダルポテンシャルアスリートの育成強化

Paralympic National Team



Mission

「持続的なメダルポテンシャルアスリート（MPA）の輩出」

Vision

世界基準の選手、スタッフであることトライアスロンのファン創出。トライアスロンファミリーのロールモデルとなる活動実践

Olympic National Team



Mission

「持続可能な勝てるチームを作る」

Vision

<組織> 強化に関わる全ての人々が幸せになる
<選手> プランに基づいて継続的に選手が活躍する
<財源> 理念に共感を得ながら支援を獲得する

Multi Sports Project Team



Mission

「ロングに挑戦するトライアスリートを支え、応援する」

Vision

「オールジャパンで世界に(TRI/アイアンマン世界選手権)挑戦する」

共通

- 強化戦略プラン/アスリート育成パスウェイモデルによる体系化
- 海外拠点の推進（海外転戦/海外選手とのトレーニング）
- 指導者発掘育成システム/宮崎ナショナルコーチアカデミー構想の推進
- 競技別NTC/強化拠点事業の推進
- 情報戦略・医化学サポートの体制構築
- タレント認定制度とリージョナル（地域）での育成



Triathlon
Japan

Governance

組織の方針・取組テーマ

基本方針

- 組織ガバナンスの一層の強化
- 普及・強化を実現する組織の活性化
- 加盟団体の法人化による持続可能な実行体制の確立

取組テーマ

ガバナンス強化

- ・ 執行部会による経営状況の管理体制及び対策強化
- ・ 組織の透明化（情報開示 役員選挙 決裁権限 外部チェック体制）

組織の活性化

- ・ 人材育成・登用による組織の活性化
#ダイバーシティ #外部人材・有識者 #選手経験者 #次世代人材 #経営人材 #国際人

グローバル対応

- ・ IF等役員・委員・外部組織への人材輩出による情報力強化
- ・ 世界基準の組織・ルールを導入 #資格制度（審判・指導者等） #競技規則・組織体制

持続可能な体制づくり

- ・ 持続可能な財務基盤の確立
#マーケティングの活用 #会員収入増に向けた施策等（会費増等）
- ・ 安心安全な競技環境の整備
#競技環境整備委員会の設置 #安全対策ガイドラインの整備
- ・ 加盟団体の法人化の推進





Triathlon
Japan